

## 市営墓地の状況について

### 1. 市営墓地の検討経過

年月	動き	内容
H10.7	町営墓地建設研究委員会	(~H11.1月 3回開催) 候補地の検討等
H11.2	町営墓地アンケート調査	(回収率57%) 町営墓地利用しない58%
H12.12	東部町議会第2回定例会	候補地を絞って検討したが、墓地事情・需要の見通し等、慎重な対応が必要との判断。
H17.10	市営墓地関係課長会議	各市公営墓地設置状況調査・報告
H18.7	庁議	候補地等の検討
H18.11	実施計画査定	必要性、場所、民間活力を含め再検討

### 2. 県内19市の設置状況

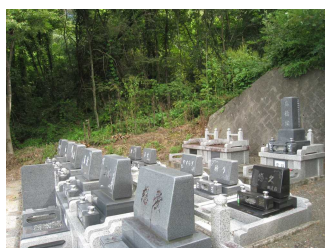
墓地形態	設置市	未設置市
一般墓地（一般区画）	17市	東御市、飯山市
合葬式墓地 （個別埋蔵式、共同埋蔵式）	長野市、松本市、小諸市、佐久市、須坂市、茅野市、岡谷市、塩尻市、諏訪市、大町市、伊那市、飯田市、安曇野市、中野市 (14市)	上田市、千曲市、駒ヶ根市、東御市、飯山市 (5市)
樹木葬	松本市 (H29 設置)	18市

#### <参考>

##### ・墓地の形態

##### ・一般墓地（一般区画）

最も伝統的なスタイルで、割り振られた区画に墓石を建て納骨する。



##### ・樹木葬

シンボルツリーと呼ばれる墓標となる樹木の周辺につくられた区画に、故人の遺骨を安置するスタイル。日本では1999年、岩手県の寺院が始まり。

(写真)  
松本市営 中山霊園



##### ・合葬式墓地

##### 個別埋蔵式（納骨堂）

建物内に区画を区切って、故人の遺骨の入った骨壺を納める。埋蔵期間を決めて、過ぎたら合祀墓に合祀するタイプも多い。

(写真)

須坂市営 松川霊園



##### 共同埋蔵式（合祀墓）

遺骨を骨壺から取り出して、複数人の故人の遺骨を一緒に納骨するタイプ。永代供養となるため、一度納骨されると特定の故人の遺骨だけ取り出すことが不可能になる。

## 市民霊園（合葬式墳墓）の設置について

### 第1 シティプロモーションとシビックプライド、そしてまちづくりの観点から

#### ※地域の情報発信について

東御市は、住みやすい 魅力のある街です

シティプロモーションはまちづくりと一体で進行するもの

行政と住民共働の絶え間ないまちづくりが進められていくことが必要

（住環境整備と地域の魅力作り、そして発信）

#### ※地域ブランドと個別ブランド

- ・地域ブランド⇒暮らしやすい地域であること、人々が生きいき生活していること、行って 見てみたい・やってみたい魅力が沢山あること

「ほどよく、田舎 信州とうみ」

東御市は、田舎だが程よい田舎で、必要な社会インフラはほぼ足りています。また、足りないものはこれから充実したインフラとして整備していく予定があります。住民たちは、生活する上でのストレスがなく、地域の良さを実感しつつ、誇りと生き甲斐を感じながら暮らしています。

地域が良い方向に進化しているという姿は、市の活力でありブランドになります

- ・個別ブランド⇒具体的な地域の特性（個性）や他との優位性、自然の魅力や歴史や文化の豊かさ、食の魅力など

地域資源（個別ブランド）については、住民の財産という共通認識が必要であり、

その認識があるからこそそれを誇りにも思い、市民自らのプロモーション活動への参加が期待できる。そして、受信者側にとってもそこで生活する市民の生の声には共感し易いといえる。

・これからは、個別ブランドが何かを具体的に特定する作業が必要

地域の宝物探しー「自然や、歴史や文化の掘り起し」で個別ブランドを育てる

市民霊園（合葬式墳墓）は、市民やその関係者が死亡した後の埋葬やその遺族の慰霊の問題についての不安を解消してくれる施設であり、管理が不要なことからこれからの時代に不可欠な生活インフラでもある。また、この施設は地域資源として市外に発信できる個別ブランドとなりうる。

利用者にとっては、市で運営することの安心感があり、また市への信頼感や愛着心も生まれる。

## 第2 慰霊形態の多様化の時代へ

少子・高齢化社会の到来と都市への人口集中

核家族化、非婚化、晩婚化

家族形態や家族観の変化

墓標の変化

祖先崇拜墓(何々家之墓・先祖代々之墓)から、個人の生きざまを刻み供養する記念碑的な墓碑へ

一族から、家族そして個人へ 両家墓・夫婦墓・個人墓（墓の細分化・個別化）

遺族にとって、お墓は、故人を葬り、偲び対話する場所

- ・国立社会保障・人口問題研究所の推計

単身世帯が、2040年には1994万世帯に

合葬式墓地（共同墓、集合墓、総墓）⇒無縁塚から永代供養墓へ

お墓の跡取りが見込めない人の、無縁墓になることの不安を解消

供養と慰霊 遺骨と靈魂

- ・納骨用の建物の中に骨壺などに分けて個別に管理する「個別埋蔵」
- ・遺骨を一つにまとめて管理する「共同（集合）埋蔵」

自然葬 遺骨を海や山などに戻して、自然に帰す（還す）葬送

- ・樹木葬 霊園の敷地や自然の山へ樹木や草花を植えて、その下に遺骨を埋葬する方法で、地下は一般的には集合型個人墓となっているが粉骨埋蔵もある。
- ・散骨 火葬した遺骨を粉末状にした上で、海では10キロ以上岸から離れた海域に、山では所有者の許可を得て目印となる大木の下に散らす方法。

平成3年 葬送の自由を進める会が相模湾で散骨を実行

厚生省 散骨は墓地、埋葬等に関する法律（墓埋法）の予想した葬法ではない

法務省 節度をもって行われれば刑法の遺骨遺棄罪には当たらない

葬送の方法であれば問題なし、投棄は犯罪（国民感情が目安）

墓石から記念碑、そして自然葬の時代へ

遺骨を地中に葬るには許可が必要－散骨は許可不要

NHK クローズアップ現代+で報道されたこと（H29.8.29）

貴方の遺骨はどこへ 石に圧縮・海で処分も 変わる日本人の死生観

遺骨の処分に困惑する現実と残された遺族に負担を負わせたくないという心理

遺骨の東京湾への散骨サービス 安さと手軽さから 2年で 1000 件  
行き場のない遺骨⇒自治体が処分（浜松市の実態） 葬送と処分  
家制度の時代から弔いの社会化へ 墓じまいの時代へ

宇宙葬、大気葬、御髪（おぐし）塚（巣鴨平和霊園）、電腦墓（サイバーストーン）、

### 第3 他市町村の現状について

県下 19 市の内、市や公社が運営する墓地は東御市、飯山市を除く 17 市が整備

- ・合葬式墓地を設置している市

長野市、松本市、飯田市、佐久市、茅野市、須坂市、小諸市、大町市  
安曇野市、伊那市、塩尻市、岡谷市、  
中野市、諏訪市（2018.11）、

下諏訪町「水月霊園 天星陵」

- ・公営の霊園設置数

上田市 4 霊園、 駒ヶ根市 3 霊園、 千曲市 1 霊園、  
青木村 1 霊園、 長和町 1 霊園、

- ・小諸市の例

2018 年 2 月より、ふるさと納税 24 万円の寄付で、合葬式の永代埋葬権 1 柱分の返礼品を準備。首都圏在住者を中心に、47 人分の申し込みと、500 件以上の問い合わせ。10 月に見学ツアーを開き、首都圏在住の 60～80 歳代を中心に 49 人が参加した。（2018・12・28 日本経済新聞）

## 第4 合葬式墳墓設置に向けて考えられること

### 1. 設置費用は

神戸市「鶴越（ひよどりごえ）合葬墓」

個別埋蔵 1600 柱分、共同埋蔵 10000 柱分 約 2 億円

諏訪市宮角間新田墓地内 合葬墓

個別埋蔵 400 柱分、共同埋蔵 1000 柱分 約 3900 万円

### 2. 財源は 寄付金、ふるさと納税、手数料

### 3. 場所は

霊園（合葬式墳墓）は、市民と霊の永遠の憩いの場所であることから、自然豊かな見晴らしの良い丘の上の公園に併設して欲しい

（霊園公園・明るく清浄で健康的な環境）

### 4. 管理は ボランティア団体の協力

### 5. その他

- ・行政は合葬式墳墓の設置事業について、住民の命を預かる立場に加えて、住民であった者の霊魂をも預かる事業という位置づけで取り組んで欲しい。霊魂とは故人のものではなく、遺族の心に残された故人との楽しかった記憶や感謝の気持ちであり、市民霊園は故人と市民が対話する集合場所といえます。
- ・慰霊者名簿の整備－遺族の開示要求に応じることが可能
- ・遺骨の処分については、市民霊園の一角に自然葬・散骨のできる場所を確保するか、離れた場所の市有山林に市民感情に合った散骨エリア（散骨専用公園）を設けて実施する。